

# ダラスのワーキング女子へエールを！

## ～DJCWのマンスリーメッセージ～

### メンター

最近巷でよく聞くメンタリング。メンター（支援者）がメンティー（被支援者）へ指導や助言を提供し、メンティーの成長を後援するしくみです。既に活用されている方も多いかもしれません。

私はDJCWというダラス近郊で働く日本人キャリア女性を応援する会を共同主催しているのですが、そこでもメンターの話が出ます。私も一時期メンターを集中的に探していました。以前「もつこの人から学んでみたい」と思えるステキな方に出会ったとき、なかば押しかけで「私のメンターになって下さい！」と頼んだこともあります。メンターには自分よりも上の役職の人を選ぶべきだと考える方も多いのですが、必ずしもその必要はありません。自分より下の役職でも、まだ若くて経験が浅い人でも、同業者じゃなくても、この人から学んでみたいと思ったら十分メンターだと思います。また、マンツーマンのメンター・メンティーという関係性で会話をしなくても、先人の知恵を学んで自分の将来に活かしてこうと試みるのであれば、それは間接的なメンターシップの考え方だと言えます。今月はそんなメンタリングについてお話ししたいと思います。

まだ私が20代で仕事を始めたばかりの頃は、仕事の成功者って何しているの？と思う、ゲストスピーカーイベントや勉強会などによく顔を出していました。スピーカーの経歴を見ると、ものすごい役職の人ばかり。さぞかしバラ色のキャリアを歩んできたんだなと思うのですが、話を聞くと順風満帆に進んできた人なんていませんでした。皆人生山あり谷あり、でも努力と運で今の立場にいるのです。そんな方々のお話を聞いて若い心ながらに勇気づけられたのを覚えています。

次は、仕事も慣れてきた30代の頃。結婚や出産を考える時でした。その頃興味を持ったのは、成功しているワーキングウーマン。彼女達がいかに家庭を持ち子育てをしながら仕事を続け、しかも「丁

HE・コーポレートアメリカ」のトップにのぼりつめたのか？その解を探すべく様々なイベントに出席したのですが、その中で聞いた話を今でも覚えています。それは某エグゼクティブリクルート会社の幹部であるマーチス・エリス・カーク氏のお話でした。「家庭・子供・仕事・成功。全てを手に入れるのは可能です。でも同時ではありません。人生は長いマラソン。長期的に見て今何をしたいのか、何を手に入れたのかを考えていきましよう」というお言葉でした。これはメンターというよりも学んだ内容ですが、まるでメンターから教わったような考え方として私の心に残っています。

時として、いくら綿密に自分はこんなキャリアを積んでいくと計画したところで、世間の情勢がそれを許さない時もあります。それを身をもって経験したのがリーマンショックの頃でした。当時の景気は最悪で、同僚も次々に解雇されていきました。次に肩たたきを受けるのは自分かも…そんなヒヤヒヤな時期を経験した当時の私は「不景気でも無敵になりたい」という思いを胸に、懸命にメンターを探しました。幸い上司のはからいで大手不動産会社JLL社のブローカーさんを紹介頂き、メンターセッションをお願いすることにしました。彼は別名「JLL社の伝説」という異名を持つ超ヤリ手の方。日常ではお会いできないような方から色々なアドバイスを頂き本当に勉強になりました。

メンターは何も一人のみと決まっているわけではありません。また社外だけでなく社内でもメンターを探す機会はたくさんあります。私の今の直属上司も、私のメンターの一人です。彼女はこの道40年の大ベテラン。きつちり細かく仕事を進めていくタイプなので、人によってはマイクロマネージャーだとネガティブにとらえる人もいるようですが、私は彼女のきめ細かな「かゆい所に手が届く」アプローチがとても好きです。なので、彼女から学べることを全て吸収しようと思いつき毎日学びまくっています。年齢上いつ突然「もう定年退職するわ…」と言いつくかわからないので、いまのうちにたくさん彼女から吸収せねば！

メンターというわけではないですが、いわゆる反面教師も学べる相手です。以

前勤めていた会社の上司が正にそんなタイプでした。決して悪い人ではないのですが、仕事の進め方がイマイチ。結局部下の私が彼の分までやる羽目になることも多く、そのたびに何度も「なんで私がヤツの仕事をしてるんだ？」と思いましたが、でも当時の部長さんに「私も昔はヘタレ上司の仕事を手伝ったわよ。仕事ができない上司がいるなら、それをチャンスと思い、あなたがやればよいのよ。勉強になるわよ」と言われました。その時は全く腑に落ちなかったのですが、今から思えば確かにあの頃は本当に色々と学んだなあ。結果オーライとするか！？

学んだ内容を次の世代に教えるのもまたメンターです。今度は私が師匠になって教えるなんて何とも気恥ずかしい話ですが、時間のある限りやりたいものです。でもせっかくこつこつが教えようと思気込んで、メンティー（生徒）側にその意図がないと何の意味もありません。

一方でやる気のある部下がメンティーにあたると、教えているこちらも嬉しくなります。「もつと向上したい、もつと学びたい」と目をキラキラさせて話を聞いてくれるを見ると、私ももつとサポートしてあげたいと思います（単純？）。そんな彼らが成長していくのを見るのが、メンターにとつての最高の褒美ですね。

今私には、他の部から転属してきた部下がいます。どうやら以前の部署ではうまく仕事ができなかったため、こちらの部署へ配属されたとのことでした。でもその部下と話をしてみると、やる気はあるし、頭もよさそうな感じです。さらに詳しく話を聞くと、以前の部署では業務をきちんと学ぶ機会がなくて困っていたとのことでした。それを聞いて私は業務トレーニングをやり直し、これもあれもやってみようとか様々なチャンスを与えてみたのです。はじめはビックリしていましたが、今ではどんどん自分から一歩を踏み出しています。

日々是精進、これはメンターもメンティーも一緒です。今後毎日勉強しつつ、次世代を育てるお手伝いをしていきたいです。

#### プロフィール

**DJCW**(Dallas Japanese Career Women) ダラス在住の働く日本人女性2人が2018年に立ち上げた会。「ダラスにて頑張っている日本人のキャリア女性を応援し、ネットワークの場を作る」という趣旨で、毎月イベントなどを通してネットワークの場を作っている。

メールアドレス: [djcwomen@gmail.com](mailto:djcwomen@gmail.com)  
ウェブサイト: [www.djcw.org](http://www.djcw.org)